

# 図書館と子育て支援施設の整備方針 に関する説明会

# 白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

## 検討経過 平成29年からの概要

平29.7 ~	図書館施設検討委員会（平30.10まで全9回）	令3.4	住民説明会（候補地の見直し）
平29.10	白馬高校公営塾しろうま學舎ワークショップ	令4.1 ~	白馬村図書館等複合施設検討委員会
平29.11	文化祭での意見聴取、シニアクラブとの意見交換	令4.4 ~	官民連携調査（先導的官民連携支援事業）
	白馬中学校ワークショップ、一般公開ワークショップ	令5.4 ~	事業費の縮減検討
平30.7	アンケート	令5.9 ~	官民連携による事業実施断念
平30.8 ~	有識者会議（令1.11まで全5回）	令5.10 ~	財政シミュレーション、施設整備方法、 建設実施可能年度等の検討
平30.9 ~	公募によるワークショップ（平30.11まで全3回）	令6.3 ~	子育て支援施設を先行して整備する方針を決定 (令7年度着手、令10年度開設)
平31.3	基本構想策定（子育て支援機能の複合化決定）		図書館は一旦先送り
令2.3	基本計画策定（最優先候補地を白馬駅に決定）		
令2.4 ~	JR東日本長野支社との協議		

# 白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

## 検討経過 令和4年度からの詳細

図書館等複合施設の建設は、

- ① 現在の子育て支援ルームの西側を候補地
- ② 官民連携による建設と運営を視野

として、令和4年度に国土交通省の先導的官民連携支援事業を活用して調査を実施しました。

この調査時点では参入意欲を有する企業が複数存在しましたが、VFMの効果は見出すことができない結果となりました。

※VFMとは・・・公共施設の整備・サービスにおけるValue For Moneyの効果とは、白馬村が自ら実施する場合の財政負担の見込み額に対して、民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法により、官と民が連携して実施する場合の白馬村の財政負担の見込み額がどれだけ削減され、質の高いサービスを行うことができるかを示す割合のことです。



# 白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

検討経過 令和4年度からの詳細

建設計画については、

- ①複合施設として建設する場合
- ②子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設する場合
- ③子育て支援施設を先行して現在地の西側に建設する場合

について、それぞれの建設経費と運営経費の推計を行ないました。

なお、白馬村は、決算に占める災害復旧や施設建設の借入金返済額の割合が高くなっているため、令和6年度予算で、1億6千万円を繰上げて返済します。

今後の推計は、この繰上げて返済したものを反映しています。

# 白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

## 検討経過 令和4年度からの詳細

現在の子育て支援ルームがある建設予定地は、これまで子育て支援施設として親しまれてきた経緯があり、役場庁舎、商業施設等に近く立ち寄りやすく、周辺は木流公園に接し、周囲に主要道路などがなく、安全性の高い場所と判断しました。



建設候補地周辺



木流公園

# 白馬村図書館等複合施設について

## ②施設整備の考え方

施設整備の考え方は次の通りになります

### ①複合施設として建設

子育て支援施設と図書館を複合施設として建設します。（仮設施設なし）

### ②子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設する場合

子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設し、財政負担の平準化を図ります。（仮設施設あり）

### ③子育て支援施設を先行して現在地の西側に建設

図書館は学校図書館との共用化等も検討し、一旦先送りします。（仮設施設なし）

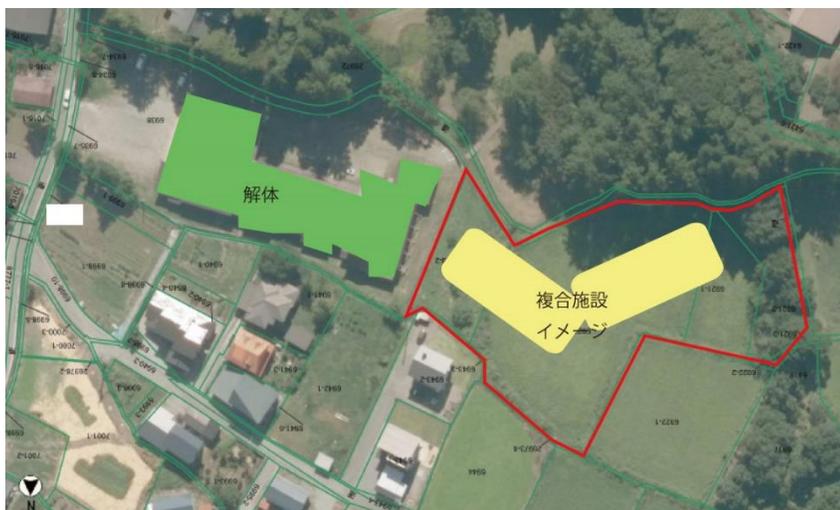
※上記の3つの整備プランは、いずれも新たな用地取得（約4,200㎡）を前提とします。

各プランの内容及び評価は、次項の通りとなります。

# 白馬村図書館等複合施設について

## ③施設整備の評価方法及び効果

### プラン① 複合施設として建設



(赤枠は用地取得予定地)

#### 前提条件

- ・現子育て支援ルーム奥に用地の確保が必要
- ・設計2年 建築2年 解体1年の事業期間
- ・開所を令和12年度目標とする

#### 事業規模

・総事業費 約19億8千万円

- ・維持管理費
- ・運営費

【年間】

約1,284万円 (約90万円)  
約5,465万円 (約3,900万円)  
※ ( ) 円は現在の施設での費用

#### 【内訳】

国庫補助等約6億2千万円  
起債 約9億3千万円  
一般財源 約4億3千万円

※用地取得費と大型遊具費は算入していない。

数年かけて検討した計画となります。官民連携による事業化が望めなくなり、村が実施主体の事業計画になっています。事業規模が大きく、財政的影響が否めないため財政推計を行い事業化の可能性を見極めました。

村の公債費負担を数値化した実質公債費負担による推計をしたところ、複合施設の建設を行ったとしても、数値は18以下で推移する見込みです。しかし、一般財源が約4億3千万円必要なことや、令和13年度頃からは小学校施設整備にも多額の一般財源が必要なため、財源確保（基金取り崩し）などに課題があります。

子育て支援施設は新施設が開所するまで、現施設で対応できるため、仮施設建設などの費用がかからないメリットがあります。

# 白馬村図書館等複合施設について

③施設整備の評価方法及び効果

## プラン② 子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設



### 前提条件

- ・用地の確保が必要
- ・子育て支援施設、図書館を時期をずらして別に建築
- ・子育て支援施設 令和7年度～10年度（令和8年度解体、令和11年度開所）
- ・図書館 令和10年度～12年度（開館令和13年度）

### 事業規模

- ・総事業費 子育て支援施設 約10億8千万円  
図書館 約12億円

#### 【内訳】

- 国庫補助等 約9億円
- 起 債 約9億6千万円
- 一般財源 約4億2千万円

（仮設施設に別途7千万円）

#### 【年間】

- ・維持管理費 計 約1,284万円  
子育て支援施設 約550万円（約55万円）  
図書館 約734万円（約30万円）
  - ・運営費 計 約5,465万円  
子育て支援施設 約2,696万円（約2,300万円）  
図書館 約2,769万円（約1,600万円）
- ※（ ）円は現在の施設での費用

財政負担が単年度に集中しないように、子育て支援施設と図書館の施工年度を分けた計画となります。なお、子育て支援施設は解体費用を起債対象とするために現在地に建築するようになっています。

しかし、新施設開所までに仮設施設を設置すると費用が割高になります。

また別に施工する場合は、経費や単価の上昇などがあり、総事業費は15%ほど増となります。

# 白馬村図書館等複合施設について

③施設整備の評価方法及び効果

## プラン③ 子育て支援施設を先行して現在地の西側に建設（図書館先送り）



### 前提条件

- ・用地を確保し、現所在地を駐車場として造成
- ・図書館は先送り
- ・令和7年度着手 令和10年度供用開始

### 事業規模

- ・総事業費 10億8千万円

#### 【内訳】

- 国庫補助等約3億7千万円
- 起 債 約4億8千万円
- 一般財源 約2億3千万円

#### 【年間】

- ・維持管理費 約550万円（約55万円）
  - ・運営費 約2,696万円（約2,300万円）
- ※（ ）円は現在の施設での費用

後年度に小学校施設整備事業が控えていることから、老朽化している子育て支援施設を先行し、図書館については財政状況を見ながら一旦先送りをします。

新施設が供用開始してから解体となるので、仮施設の設置は不要となり、現在の子育てサービスはそのまま維持することができます。

長い年月をかけて検討した図書館建設案を将来的に実現する用地を確保しつつ、後年度に控えている学校整備計画において学校図書館と公共図書館の共有化等の検討も行います。

プラン②と比較して仮施設は不要となります。

# 白馬村図書館等複合施設について

## ④教育委員会事務局における検討結果

### 教育委員会事務局の検討結果

3つのプランについて、施設整備や維持管理運営におけるメリット・デメリット、財政的な負担等を比較・評価を行った結果、教育委員会事務局としては、

### 従前の検討のとおり複合施設として整備するプラン①

が最も望ましいという結論に至りました。

財政シミュレーションにおいても、将来の借入金の負担は他のプランと比べて大きく変わることはなく、これまでの検討において住民から要望が多かった、子育てや公園、図書館、交流、居場所等の複合的な機能を有する住民目線の施設整備を行うことで、住民の期待に応えるとともに、効果的・効率的な施設整備や維持管理運営を行うことが望ましいというのが主な理由です。

(各プランごとの実質公債費比率の詳細は次頁のとおり)

### プラン① 複合施設として建設



# 白馬村図書館等複合施設について

## ④教育委員会事務局における検討結果

### 0. 複合も単独もなし（繰り上げ償還なし）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	18.7%	18.4%	17.8%	17.4%	15.8%	15.4%	15.0%	14.3%	11.1%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	18.0%	18.2%	18.2%	17.8%	16.9%	16.1%	15.3%	14.8%	13.4%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	750,113	708,750	652,287	622,923	571,340	547,995	527,756	509,678	446,777

### 0.1 複合も単独もなし（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.5%	15.0%	15.0%	14.3%	11.1%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.8%	16.8%	16.4%	15.8%	15.1%	14.7%	13.4%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	659,959	615,905	612,517	560,998	537,745	527,756	509,678	446,777

### 1. 複合施設（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.5%	15.2%	15.2%	15.0%	13.0%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.8%	16.8%	16.4%	15.9%	15.2%	15.1%	14.3%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	659,959	615,905	612,696	562,434	542,115	534,442	530,545	508,008

複合施設建設 1年目 2年目 3年目 4年目 (起債額：933,000千円)

### 2. 単独施設（子育て&図書館）（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.6%	15.7%	16.1%	15.4%	12.5%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.9%	16.8%	16.4%	16.1%	15.7%	15.7%	14.6%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	660,082	617,487	614,628	564,855	558,861	563,602	546,286	492,324

子育て支援施設 1年目 2年目 3年目 4年目 (起債額：481,100千円) 起債額合計：956,300千円  
 図書館建設 1年目 2年目 3年目 (起債額：475,200千円)

### 3. 単独施設（子育てのみ）（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.6%	15.7%	16.0%	15.3%	12.2%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.9%	16.8%	16.4%	16.1%	15.7%	15.6%	14.4%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	660,082	617,487	614,628	564,787	558,001	561,225	543,147	480,246

子育て施設建設 1年目 2年目 3年目 4年目 (起債額：481,100千円)

# 白馬村図書館等複合施設について

④教育委員会事務局における検討結果

## 4. 過去の実質公債費比率

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実質公債費比率 (単年度数値)	22.5	21.9	19.7	16	14.5	12.9	12.4	10.4	10.1	9.6	8.8	11.3	12.8	12.6	14	16.5
実質公債費比率 (3カ年平均数値)	21.6	21.8	21.3	19.2	16.7	14.4	13.2	11.8	10.9	10	9.4	9.9	10.9	12.2	13.1	14.3

## 5. 他市町村の財政健全化判断比率（令和4年度決算）

	木島平村	白馬村	池田町	佐久穂町	飯山市	駒ヶ根市	小谷村	売木村	飯綱町	大桑村
県平均6.3 実質公債費比率	14.5	14.3	12.1	11.8	11.7	11.6	11.4	11.3	11.1	10.8

# 白馬村図書館等複合施設について

## ⑤財政的視点からの検討

前述の教育委員会事務局の意向は理想的であります  
が、以下の理由により慎重な判断が必要であるとの結果に至りました。

- 実質公債費比率が高止まりの状況となることが予想されます。
- 複合施設整備に約4億3千万円の一般財源が必要となり、全庁的な影響が大きくなります。  
(令和11年は単年で3億円超)
- 令和13年以降からは、小学校施設整備も計画しています。  
(合わせて10億円超の一般財源が必要)

それに対して、現在の財政調整基金の残高が約12億円という状況を踏まえると、複合施設整備の場合は、基金を大きく取り崩さざるを得ないこととなりますが、建築資材、人件費、燃料費等の物価高騰、更に近年頻繁に発生している災害発生等への対応を考慮すると基金の取り崩しには慎重な判断が必要となります。

# 白馬村図書館等複合施設について

## ⑥最終的な結論

以上のことから、プラン③の複合施設の候補地としていた

- 現在の子育て支援ルーム西側の農地を取得し、子育て支援施設を先行して整備
  - 新たな図書館の整備は一旦先送り
- とする方針としました。

先行して整備する子育て支援施設に隣接する計画に加えて、今後検討を行う小学校施設整備と合わせた整備も視野に入れながら、今後の財政状況等により判断していくこととします。

### ■現時点で想定している子育て支援施設の事業概要

スケジュール：R7設計、R8～9建設工事、R10既存施設解体撤去・新施設開設

延床面積：約1,000㎡

事業費：10億8千万円

